

# Taipei Innovative Textile Application Show



# TITAS 2017

## 台北紡織展



台湾で唯一、且つ最大規模を誇る繊維製品総合見本市「第21回台北紡織展（TITAS2017）」が、昨年10月16日から18日までの三日間、台湾・台北市の台北世界貿易センター南港展覽館で開催された。主催者は、中華民国紡織業拓展会と中華民国对外贸易発展協会。1997年の初開催以来、21回目となり、台湾のほかドイツ、スイス、日本、中国、インド、インドネシアなど11の国と地区から383社が789ブースで出展、前回展に比べ7社増加した。来場者数は約3万6千人となり、過去最多を記録した。前回展は20周年の記念で蔡英文総統も出席するなど盛況であったが、今回はそれをさらに上回る規模となった。

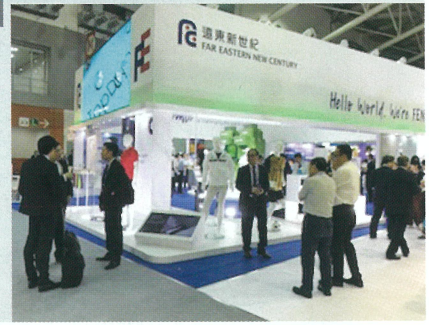
TITASでは、繊維産業の川上川中製品・繊維原料・糸・生地などを出品対象としており、中華圏市場



への参入、あるいはASEANへのサプライチェーン開拓の絶好の機会となっている。特に「機能」「エコ」など優れた技術・製品を国際的にアピールしている。これらに加え、これからの新時代に向けて、センサーを埋め込んだ最新のスマート・テキスタイルとウェアラブル・テクノロジーの出展を強化している。今回展でも遠東新世紀、南緯実業、富順織維、紡織産業総合研究所といった台湾企業が出展した最新のスマート・ゲームントが注目を集めた。

日本企業の出展数も増えており、宇仁織維と三木理研工業が初出展した。YKKや群馬県桐生市共同ブースのほか、日本毛布工業組合、ファイングレイド・ウールクラブがそれぞれ共同ブースを構えていた。

なお、今回は本年10月16日から18日に開催日程が決定している。



今回の三大核心テーマの一つ、スマート・テキスタイルが注目を集めた。極東新世紀からは医療機関や通信業界の協力を得て開発中のスマート・テキスタイル「ダイナフィード」をスポーツ、医療、リハビリなどの用途に向けて提案。モノのインターネット（IoT）による新たな健康管理ネットワークにビジネスチャンスを狙っている。また南緯実業でもスポーツ、アウトドア・レジャー、医療看護の領域でスマート・テキスタイルを出展した。



世界中から有名ブランドのバイヤーが来場した。アウトドアでは、アンダー・アーマー（米）、ザ・ノース・フェイス（米）、ブラックダイヤモンド（米）、サレワ（伊）、フェーラーベン（瑞典）、インタースポーツ（瑞西）、ピークパフォーマンス（瑞典）、デルタスポーツ（ドイツ）、クラグホップパズ（英）、ラフマ（仏）、ストッケ（諾）、レッドフォックス（露）、ヨネックス（日）など。アパレルブランドでは、バーバリー（英）、コーチ（米）、ラルフローレン（米）、ペリーエリス（米）、オカイデイ（仏）、ELLASSAY 歌力思（中）など。